

発行日 2023年7月19日（水）

八王子学園八王子中学校・高等学校 広報誌

〒193-0931 東京都八王子市台町4-35-1

TEL. 042-623-3461(代) FAX.042-626-5646

URL. <https://www.hachioji.ed.jp>E-mail. info@hachioji.ed.jp

● 公式Instagram

行事や学校生活など
八王子学園に関する
様々な情報を発信しています。

鈴懸

【Suzukake】

生徒総会

6月14日（水）2・3限に生徒総会が行われました。

昨年度の生徒総会で「体育祭の次の日を休日にしてほしい」という意見が上がり、生徒会の尽力により今年度から適応されました。今年も「校内用の履物をサンダルから靴に変えてほしい」「髪型に関する規則を緩和してほしい」など、多くの意見があがりました。生徒たち自身がより良い学校づくりを考える、良い機会となりました。

そして6月7日（水）の生徒会長選挙で新しく生徒会長になった2年10組小林さんと、1年間生徒会長を務めた3年5組岩下さんからのメッセージを紹介します。



新生徒会長

高校2年10組 **小林美紅さん**

前生徒会長

高校3年5組 **岩下さくらさん**

皆さんこんにちは。この度新生徒会長に就任しました、2年10組の小林美紅です。

新型コロナウイルスが蔓延してから約3年半。今、私たちの日常が戻りつつあり、行事の規制が少しずつ緩和されてきています。この調子で、盛り上がる完成度の高い行事を作っていきます！

生徒会長に就任してから、学年問わず多くの生徒さんから応援の言葉を頂いております。本当にありがとうございます。皆さんから支持していただけるような生徒会長になれるよう、精一杯努めてまいります！

私の公約は先生方と話し合いをしている途中で、現段階ではどのような方向にいくかは明言することはできません。ですが、どのようなご意見も真摯に受け止め、誠意を持って対応していきます。これから一年間よろしくお願いします！

皆さんこんにちは。前生徒会長の岩下さくらです。この1年の活動の様々な場面で、たくさんの方にご協力頂き、応援の言葉をかけて頂きました。そういった言葉が、何よりもの励みで、何度も助けて頂きました。本当に、ありがとうございました。

これから、少しずつコロナ体制以前の活動スタイルへ移行していきます。文化祭を始め、皆さんの学校生活にも変化が訪れることと思います。行事の成功には、皆さんのご協力が必要不可欠となります。今まで経験したことのない場面も多くあると思いますが、生徒会と一緒に、新しい学校生活を拓いていきましょう。これからも、生徒会の活動にご理解とご協力をお願いします。



新執行部のみなさん

会長：	2-10	小林 美紅
副会長：	2-5	石川 明日菜
	2-6	木下 朝湖
総会系系長：	2-6	森 孝太郎
体育系系長：	2-3	田中 智香子
学芸系系長：	2-9	勝又 美来
会計系系長：	2-3	廣田 拓海
書記系系長：	2-1	高橋 洸遥

中高クラブ活動の記録

高校男子バスケットボール部

●東京都高等学校総合体育大会 兼

東京都選手権大会 兼 全国選手権大会1次予選

決勝リーグ

VS国学院久我山84-72

VS成立学園86-82

VS実践学園91-70

決勝リーグ3戦全勝で優勝



北海道で行われる
インターハイに出場!



高校柔道部

●関東高等学校柔道大会東京都予選

男子団体戦 5位 関東大会東京都代表

●全国高等学校総合体育大会東京都予選

男子60kg級 2位 3-12 小嶋武蔵

男子100kg超級 3位 2-14 西野賢惺

●第68回東京都高等学校総合体育大会 兼

第72回全国高等学校総合体育大会

柔道競技大会東京都予選会

男子60kg級 第2位 3-12 小嶋武蔵

男子100kg超級 第3位 2-14 西野賢惺



高校女子バレー部

●春季大会兼関東大会予選

38組優勝 本選出場

●東京都総体予選全国総体予選兼国体予選

4回戦出場 都ベスト64



高校女子バスケットボール部

●東京都高等学校総合体育大会兼

東京都選手権大会兼

全国選手権大会1次予選

ベスト16



高校卓球部

●八王子市卓球選手権大会

ジュニア男子 第3位 3-8 塚本 匠

ジュニア女子 準優勝 2-11 小演 帆夏

ジュニア女子 第3位 2-2 橋場 夕奈

ジュニア女子 第3位 3-8 百瀬 彩夏

●春季大会兼関東大会予選会

女子団体BクラスBブロック 優勝

女子団体出場者 3-2 佐々木 朋果

3-8 百瀬 彩夏

3-9 小野 結愛

2-11 小演 帆夏

●東京都総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会予選会

女子ダブルスBクラスAブロック 準優勝

2-2 橋場 夕奈

2-11 小演 帆夏

女子ダブルスBクラスBブロック 準優勝

3-8 百瀬 彩夏

3-9 小野 結愛

●東京都総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会予選会

シングルス女子Bクラス準優勝 2-11 小演帆夏

シングルス女子Bクラス第3位 2-2 橋場夕奈



高校陸上競技部

●U20日本陸上競技選手権大会

ヤンマースタジアム長居 6/1から4

女子走幅跳 7位 5m79 3-10 中村咲良

●関東高等学校陸上競技大会

男子三段跳 5位 14m29 3-12 木住野幸大

男子八種競技 3位 5499点 2-14 菊田力輝

女子400mH 59秒77 2-12 村松瑠奈

女子4x400mR 6位 3分47秒16 3-12 入江有咲陽 2-12 村松瑠奈

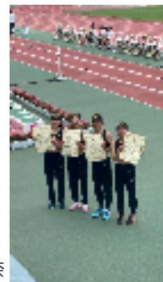
3-9 川崎啓子 2-12 福西和香子

女子走幅跳 3位 5m81 3-10 中村咲良

8位 5m50 2-14 篠山那弥子

女子三段跳 12m45 3-10 中村咲良

以上6位以内に入賞した、6種目 10名がインターハイに出場します。



高校水泳部

●東京都高等学校選手権大会

女子総合優勝、男子総合6位

【女子個人】

3-12 鈴木莉緒 50m自由形2位 100m自由形1位

3-9 澤響花 100m背泳ぎ1位 200m背泳ぎ2位

3-7 伊藤ななみ 100m背泳ぎ2位 200m背泳ぎ1位

3-9 内藤花音 100mバタフライ3位 200mバタフライ4位

3-12 太田煌 100mバタフライ4位

1-10 西村すみれ 100m背泳ぎ3位 200m個人メドレー3位

1-14 佐藤琴美 100m平泳ぎ1位 200m平泳ぎ2位

【男子個人】

1-14 間瀬知尚 100m自由形8位

2-14 酒井悟 400m自由形7位 1500m自由形3位

2-12 福田諒 1500m自由形7位

3-12 脇山俊 200mバタフライ8位

2-11 水町龍太郎 200m個人メドレー7位 400m個人メドレー5位

3-12 釣谷颯大 400m個人メドレー8位

【女子リレー】

女子4x100mリレー 2位 3-9 澤響花

3-12 鈴木莉緒

女子4x200mリレー 2位 3-9 澤響花

3-12 鈴木莉緒

女子4x100mメドレーリレー 1位 3-9 澤響花

3-9 内藤花音

【男子リレー】

男子4x100mリレー 4位 1-14 間瀬知尚

2-14 酒井悟

男子4x200mリレー 4位 1-14 間瀬知尚

2-14 酒井悟

男子4x100mメドレーリレー 6位 3-12 釣谷颯太

3-12 脇山俊



中学陸上競技部

●第86回東京陸上競技選手権大会

女子800m 8位 3-3 渡瀬野々花

●第74回東京都中学校地域別陸上競技大会多摩大会

3年男子100m 4位 3-3 時久達也

2・3年男子走幅跳 4位 2-2 瀧本泰誠

1年男子走幅跳 6位 1-2 桑名哲芯

3年女子100m 2位 3-3 渡瀬野々花

2・3年女子1500m 5位 3-3 渡瀬野々花

共通女子4x100mリレー 7位 2-1 大和奏月 3-3 深澤優空

2-2 大野颯夏 3-3 渡瀬野々花

以上、都大会出場

(7/8・9江戸川 7/22・23上柚木)

●第62回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会

共通女子800m 4位 3-3 渡瀬野々花

全国大会の標準記録を突破し、8月
22日～第50回 全日本中学校陸上競
技選手権大会(愛媛県)に出場しま
す。



前期 教育実習

5月29日(月)より3週間の日程で、前期教育実習生10名の受け入れを行いました。授業だけでなくHRや部活動に関わる機会も多かったのではないのでしょうか。実習生を代表して、地歴・公民科の野田先生と、体育科の五十嵐先生の感想文を掲載します。



日本体育大学体育学部健康学科

<五十嵐一渚>

教育実習生として八王子学園八王子高等学校で過ごした3週間は、あっという間に過ぎていきました。期待と不安の両方を感じながら向かった初日の緊張感を昨日のここのように覚えています。実習を終えた今は、もっと生徒と関わってみたい、もっと先生方から学びたい、と達成感とともに寂しさを感じています。

今回の教育実習では、大学で学修してきたことや先生方を観察して得たことを実践し改善を繰り返してきました。先生方からして頂いた指導は勉強になることばかりで、それをなんとか形にしようとしてきましたが、うまくいかないことも多くありました。その中で、生徒の皆さんは実習生の私を「先生」として、明るい笑顔で迎えてくれ、その笑顔に助けられたことが何度もありました。「楽しかった」「分かりやすかった」「ありがとう」などの温かい言葉をもらえて、大きな喜びとやりがいを感じました。

3週間という期間で経験した「先生」という仕事は、責任の重さや大変さを感じながらも、多くのやりがいを感じられる職業でした。また、私の中学高校時代に、忙しい中でも部活動の指導や相談を受けてくださっていた先生方への感謝を、身をもって感じる事ができました。6年間過ごした母校で、教師になるための一歩を踏めたことを大変嬉しく思います。指導をしていただいた先生方、生徒の皆さん、3週間ありがとうございました。

学習院大学文学部哲学科 <野田駿介>

「教師」という以前とは異なる立場で再び戻ってきたこの学び舎で過ごした3週間はとても楽しく、沢山の学びを得た有意義な時間となりました。日々不安と期待が合わさりながら目まぐるしく過ぎる時間を過ごす中で、教師という仕事の難しさ・勉強量の多さを痛感すると共にそのやりがい・素晴らしさを感じることができ、まだ学ばべきことが沢山存在するのだという今後に対する明確な目標も見えた実習となりました。

3週間という短い時間の中で生徒の皆さんと良好な関係を築きながら、楽しく・学びのある授業をしたいという思いで日々取り組んでいました。学校という場所はまさに「人間」の集団なので毎日同じ事が起こるはずもなく、日々各々の様子を伺いながら声かけをしたり、授業作りに関しても曜日・時間・その時々状況によって変化させながら行わなければならないという点に特に難しさ面白さを感じました。その中で生徒・先生方と良い関係を築くことができた時には自分自身とてもやりがいを感じ、自分の考え・行動が正しかったのだろうという自己肯定にも繋がりました。不完全な人間だからこそ、困難を乗り越えたときに素敵な空間が広がる可能性も多いのが学校なのかな(?)と実習を通して感じ、教師の魅力の一つもここにあるのではないかと思います。

今回の実習でご指導をいただいた先生・職員の方々、沢山関わってくれた生徒の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。3週間貴重な経験をさせてくださり、本当にありがとうございました。

2023(令和5)年度 教育実習生名簿【前期】

地歴・公民	今村 有希	明治大学 法学部 法律学科
	渡辺 賢斗	流通経済大学 経済学部 経済学科
	上土井 颯	駒澤大学 文学部 地理学科 地域文化研究専攻
	野田 駿介	学習院大学 文学部 哲学科
芸術	池田 絢音	昭和音楽大学 音楽学部 音楽芸術表現学科 声楽コース
	小泉 秀平	国立音楽大学 音楽学部 演奏・創作学科
	青木 飛鳥	多摩美術大学 美術学部 絵画学科
	榎本 伊吹	武蔵野美術大学 造形学部 日本画学科
体育	五十嵐 一渚	日本体育大学 体育学部 健康学科
	半田 雄資	日本体育大学 体育学部 体育学科



仕事生き方ガイド



講師

たけべ 竹部 美佑さん (2010年度卒業生)
きつわ はるな 遥奈さん (2012年度卒業生)
やまだ けいこ 啓悟さん (2015年度卒業生)
山田



〈生徒の感想〉

寄せられた感想文から
コメントを抜粋しました

好きなことを仕事にできるのは本望だと思うので、そうできるように意志をしっかり持ち、積極的に将来の方向性を見据えながら、日々最大限努力出来るようにしたいです。

これから大学に進学するにあたって、将来自分が社会に出て何をしたいか、何ができるのかを考えながら、高校生活を過ごしていきたいと思いました。

好きな事を伸ばして自分のブランドを高めていくことや興味を持った事を行動に移すのも重要なんだと気づくことが出来た。

文系から理系に変えての就職や、自分のちょっとした好きなことから仕事を選ぶことができるというのが印象的だった。また、仕事というのは自分一人の戦いではなく組織でやるもので、活躍するには得意分野を伸ばすことや解を正にすることが大切である、など、興味深いことを聞けて良い体験になった。

「仕事は仲間と補い合うもの」という言葉が一番の驚きでした。結果を出さないといけない実力主義の会社では特に、他の人と張り合わなければならないイメージを持っていました。

成功だけでなく失敗もたくさんして様々な経験を知識として活かせる仕事に就きたいと思った。

自分が苦手なもので今までなるべく避けてきたものも、いつかは自分のためになると思い、これからは積極的に挑戦していきたいです。

何かを選択した後、後悔しないように行動をすることが大切だと言っていたので、今後の生活でも意識していきたいと思った。



公開授業・三者面談

1学期の三者面談に合わせて行われる授業公開週間が終了しました。今年度の公開授業は、延べ345名の方にご来校いただき、アンケートにも大勢の方がご協力くださいました。「生徒の方から挨拶をしてくれることが多く、授業にもよく集中し、授業に参加する姿勢もよく、生徒の質の高さを感じられました。」「いつ来校しても生徒達が生き生きとしており、楽しそうです。先生方にも適切な距離感で見守って頂いているように感じます。」「生徒の言葉をちゃんと一言一言拾い上げて対応する先生の指導がとても良かったです。」「映像も活用しながら、とても分かりやすく進めていて、それにより生徒達も集中していたように感じました。内容や進め方も素晴らしいと感じました。」など、教員の励みになるようなご感想も沢山いただきました。一方、「挨拶がもう少し活発になると、さらに学校の雰囲気よくなると思いました。」「電子黒板の文字が背景と重なって見づらいのではと感じました。」「どのフロアも静かで真面目に授業を受けているのだと思いました、生徒達が活発に発言し、コミュニケーションをとっているような授業も見たいと思いました。」などのお声もいただきました。それらのお言葉を真摯に受け止め、ますます教育の質の向上に努めてまいります。お忙しい中ご来校くださいましたことを、心より感謝申し上げます。

生徒国際交流

4月22日・24日にオーストラリア、メルボルンの高校生2名が本校を訪問し、高校2年生の授業を中心に2日間、授業にも参加しました。本校に在籍しているフィンランドからの留学生とも交流し、充実した2日間を過ごすことができました。



芸術鑑賞会

5月2日(火)芸術鑑賞会が行われました。今年は狂言と泉流二十世宗家・和泉元彌さんによる『和泉元彌の狂言鑑賞会』を午前の部(高校2・3年生)と午後の部(中学生・高校1年生)に分かれてそれぞれ鑑賞しました。日本の伝統芸能である狂言ですが、初めて鑑賞した人も多かったようです。鑑賞してみた感想を中・高それぞれ2名ずつ紹介したいと思います。

〈中学1年1組 有働 真結〉

私は今回の狂言鑑賞会で狂言の興味がわいた。さらに狂言の歴史を通して、室町時代の文化も知ることができた。

狂言について、私は難しそうだしつまらなそうだな、という印象しかなかった。しかし、実際に見てみるとそのような考えがひっくり返ったのだ。

まず舞台がシンプルで松の絵が大きく迫力があり、どんな感じなのだろう、と少し胸が高鳴った。そしてお話が始まり、最初に驚いたのは「声」だ。大きく堂々と響く声で話し始めた。心に直接響き、また頭の中で背景が無いにもかかわらず、想像することができた。とてもかっごく少し感動してしまった。次は「話し方」が特徴的であった。「ワンワン」を「ビョウビョウ」と表現したり、「やってやる」を「やるまいぞ」と言ったりして。室町時代と現代の言葉の違いを知ることができた。その室町時代の言葉を使っているからこそ、二つのお話がすごく心に残った。

最後は話の「内容」だ。この二つのお話は罪を犯した者に対してからかって遊ぶことで、どろぼうを笑いにしてしまっている。ここから室町時代に狂言を作った人の「温かさ」や「穏やかさ」を感じることができた。マイナスのことも見方を変えてしまえば楽しく面白い「お芝居」になるのだな、と思った。その面白さを芝居にした室町時代の人々はすごいな、と室町時代の人に感心してしまった。

狂言とは難しいイメージがあったが、今回の狂言鑑賞会で狂言は今でいうお笑いのような楽しいものであることがわかった。更に狂言の楽しさに気が付いただけではなく、狂言の歴史や室町時代も知ることができ、更に興味を持った。狂言を行うことがあったらまた見たいと思う。



〈高校1年8組 土澤 日奈子〉

今回は素晴らしい機会を頂き誠にありがとうございました。私は日本の伝統文化にとっても興味を持っていますが、なかなか機会に恵まれず残念に思っていたところ、この度学校行事で体験する機会を頂けるとはとても幸せで感謝の気持ちでいっぱいになりました。

私は狂言に堅い印象を持っていたのですが、物語は面白く、また何と云っても衣装や所作が圧倒的に美しく狂言に惹かれました。

そして講演の最後に「百パーセントには百パーセントで応える。全力を出し切ることでしかわからない世界、出し切ることでしか見えない世界がある。」というお話は真っ直ぐに私の心に響きました。それは真摯に伝統芸能の道を極めて来られた方のお言葉だからだと思います。また、私達はこれからたくさんの「初めて」を経験すると思います。今回頂いたお言葉を胸にこれから経験する全てに自分なりの全力で応えていきたいです。



〈中学3年3組 土田 七美〉

私は今回初めて狂言を鑑賞した。日本の伝統芸能は古くから伝えられており、今後も大切に継承していかなければいけない。このことはもちろん授業でも学習したし、私自身そのように思う。しかし、日本の伝統芸能は言葉もよく分からないし堅苦しいところがあると思ってしまっていた点があったため、自分から遠ざけてしまっていたな、と今回の鑑賞会で実感した。

今回はその伝統芸能のうちの一つである狂言を鑑賞したわけだが、本当におもしろかったな、というのが正直な感想だ。セリフももちろんだが、一つ一つの行動にやり方やきまりがあって、それを忠実に守った上で面白くする。これはたくさんの練習がなければできないことだろうと思う。狂言が始まった時代から現代に至るまで「笑う」ところが共通していて、同じものを見ていたのだな、と思うと親しみもわいた。自分自身で狂言を身に付けて今後に伝えていくことは難しいが、今回鑑賞させて頂いたことをたくさんの人に言うことも日本伝統を守っていく一つの手段だと思う。私は今日させて頂いた貴重な経験を今後も覚えていようと思う。

〈高校3年5組 村田 響〉

今回、初めて狂言を見て日本文化の根強さを感じた。話を聞いた中で最も驚いたのは、二百五十四曲もあるのに関わらず、殺人という描写が無いということである。壮絶な場面を描くのではなく、人が一生懸命生きていることから生まれた珍道中を描くことで、大衆からの共感を得て長く愛されてきたのだと思った。

それだけではなく、舞台セット、衣装等に詰められた細やかな工夫に感動した。メイクを一切しないこと、松の木の前で行うこと、松を位置取りの為だけでなく大きさを変えることで遠近法を利用すること、言われなければわからないような所にまで伝統、そして客に楽しんでもらう秘訣がある。だからこそ初めて見る私でも存分に楽しむことができた。

海外の人だけでなく、日本人である私達ももっと日本の伝統的な文化・芸能に触れ、それを守っていくべきなんだと実感するととても良い機会になった。



高校体育祭 ～八学杯～



6月1日、今年も富士森競技場で高校体育祭が実施されました。数日前からの台風接近に伴い、開催が危ぶまれましたが、当日は爽やかな晴天。生徒会執行部の主導のもと、円滑に競技が進みました。1年生にとっては「初めての体育祭」、3年生にとっては「最後の体育祭」、生徒一人ひとりの想いが詰まった素晴らしい体育祭となりました。

2023年6月1日 (木)
東京フットボールセンター
八王子富士森競技場





	100m 走		障害物競走	台風の日			大縄	クラス対抗リレー 1年		クラス対抗リレー 2年	
1位	赤団		青団	赤団			黄団	8組	14組	10組	14組
2位	黄団		黄団	緑団			青団	1組	11組	3組	11組
3位	緑団		赤団	青団			緑団	9組	12組	4組	8組
	クラス対抗リレー 3年		女子綱取り	男子綱引き			部活対抗リレー				総合順位
				1年	2年	3年	男子	女子			
1位	4組	12組	赤団	赤	青	緑	陸上 野球	陸上 バスケットボール			赤団
2位	6組	7組	黄団	黄	黄	青	サッカー バスケットボール	ハンドボール バレーボール			黄団
3位	4組	8組	青団	緑	緑	黄	バレーボール ハンドボール	バドミントン サッカー			緑団



中学運動会

2023年6月2日（金）
エスフォルタアリーナ八王子



6月2日（金）エスフォルタアリーナ八王子体育館で中学運動会が開催されました。赤・青・黄の3つの団に分かれ、学年の枠を超えて団優勝を目指し、競技に臨みました。ソーシャルダンス合戦や技巧走、運送屋さんなどユニークな競技や、全学年が白熱する団対抗リレーなど、広い体育館に声援が響き渡りました。会場には生徒の手作りの団旗が掲げられ、吹奏楽部とダンス部によるハーフタイムショーや応援合戦にも練習の成果が現れていました。結果は黄団が総合優勝。閉会式ではお互いの健闘を称え合いました。

